

製造業ITマイスター指導者育成プログラム概要

本プログラムは、製造業をターゲットとし、現場を起点としたボトムアップなカイゼン型のシステム構築の手法を習得するためのカリキュラムを開発、教育訓練を実施(※訓練内容は実践重視)。また、デジタル技術によって業務の生産性を飛躍的に高める「製造業ITマイスター」スキル標準を明らかにし、新たな高度IT技術者／技能者の育成につなげる。

◆高度IT実装技術の修得と適用

- ✓IoTでレガシー設備からデータを取得する。
- ✓音や振動データから故障の予兆を検知する。
- ✓手書きメモや画像などに検索キーを付けて管理する。
- ✓AIで画像データから良品、不良品を識別する。
- ✓ICカードを用いて生産履歴を管理する。
- ✓クラウドを用いて遠隔地の工場を見える化する。

◆システム構築技術の修得と適用

- ✓簡単な在庫管理システムを作る
- ✓簡単な品質データ管理システムを作る
- ✓簡単なCRM(顧客仕様管理)システムを作る

29年度

- 必要となる知識・技能の把握・分析
- プログラム開発内容等の検討

30年度

- プログラム開発
- 講師マニュアル作成
- 講座実施・運営
- 振り返りと改善

31年度

- 更なる講座実施
- プログラム、運営方法、マニュアルのアップデートと改善

回数	日付	内容	単位数
1回	6月3週	製造業IT導入ワークショップ	6
2回	6月4週	高度IT実装技術の修得1	6
3回	7月1週	高度IT実装技術の修得2	6
4回	7月2週	システム構築技術の修得1	6
5回	7月3週	システム構築技術の修得2	6
6回	7月4週	PBL1(フィールドワーク:工場見学)	6
7回	8月1週	PBL2(課題の設定と解決策の提案)	6
8回	8月4週	高度IT実装技術の適用	6
9回	9月1週	システム構築技術の適用	6
10回	9月2週	最終成果報告会、兼最終試験	6



【習得できる能力・スキル:プログラム参加後】

- ラズベリーパイを用いてセンサーデータ取得できる
- エッジデバイスをPython等で機能設定することができる
- コンテキスト編集ツールで生データを一次加工できる
- 時系列データやビックデータを解析できる
- BIツールを用いてデータを可視化できる
- AI技術を活用し、データから知識、知見を取り出せる
- システム構築ツールで業務システムを試作できる
- クラウドを活用し社内、社外でデータ共有できる
- 知財やセキュリティの管理をシステム上で定義できる

